

花川病院に入院されたことのある患者さんおよびそのご家族の方へ

当院では、下記の臨床研究を行っております。本研究の対象者に該当する方で、研究のためにご自身のデータが使用されることを望まれない場合やご不明な点がございましたら、お手数ですが末尾の担当者までお知らせください。

【研究課題】

2024年度診療報酬改定に伴う介入単位数上限変更が大腿骨近位部骨折術後患者のFIM改善に与える影響

【研究機関名及び自機関の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 医療法人 喬成会 花川病院

研究責任者 北井宏哉・リハビリテーション部理学療法科

【研究期間】

承認日～2026年5月31日

【対象となる方】

研究対象者は 2023年6月1日から2025年3月31日の間に花川病院に入院された方です。

その中で大腿骨近位部骨折の術後リハビリテーションを受けられた方が対象になります。

【研究目的・意義】

実際に行われた診療から生じるデータはリアルワールドデータと呼ばれ、蓄積が進んでいます。本研究は、電子カルテデータから抽出可能な基本データ（年齢・性別）、Functional Independence Measure (FIM)、Berg Balance Scale (BBS)、Mini Mental State Examination (MMSE)、手術～当院入院までの期間、在院日数、1日平均のリハビリ単位数を抽出しています。診療報酬改定が2024年に行われた為、その前後の2群間で日常生活動作（ADL）の改善に違いが出るか、どの様な要素がADL改善に有効となるのかを明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

本研究は、過去の診療録を用いた後ろ向き観察研究であり、新たな検査や介入を行うことはありません。また、データの取り扱いについては、個人情報保護法および関連ガイドラインを遵守し、匿名化を行った上で解析を実施します。抽出したデータはランダムに並べ、ADL改善の指標として毎月のFIM得点を使用、診療報酬改定前後の2群間で改善に差があるか、またFIM得点改善に関連する項目があるかという点について反復測定混合モデル（MMRM）を用いて統計解析を行います。解析にはR version 4.5.2を用います。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の獨創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

本研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。取得した情報は、解析する前にあなたの氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、どなたのものか分からないように匿名化処理をします。

本研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先に、末尾に記載されております掲載日から60日以内にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌などで公表します。

本研究は、花川病院倫理委員会の承認を受け、花川病院病院長の許可を受けて実施するものです。

本研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

2026年4月27日

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：北井 宏哉

連絡担当者：北井 宏哉

〒061-3207 石狩市花川南7条5丁目2

医療法人 喬成会 花川病院

電話番号：0133-73-5311

Email: reha@kyouseikai.jp